

LICENSED PRODUCT
3/Color
White
Magenta
Red
Yellow
Green
Cyan
Blue



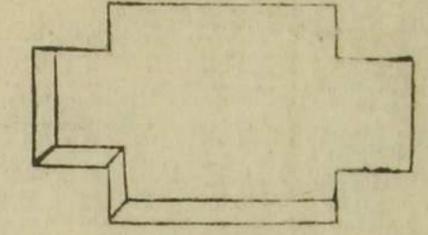
鏡鑠瓢箪
檨峯梧桐



仙鶴堂

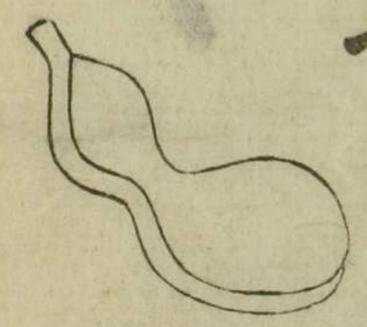
壽梓

癸巳
新彫



出世奴小万傳

柳亭種彦作
歌川國直画



全四冊
上の巻

2483
10



松葉川岸より横をへ何が院の向側格子より物たてより彼負の
宿りて思ひかひの杜あひまゝかや一障りより理のまゝかひの
まゝ近頃の新幕白の幕泥黄土腰も出入の儀紙五郎合洲初
小万の字の方卒の周小龜の紋切形あふ極門昌兵衛の錢持金の
文金由七里が瀨のそとより白藪これ打こんで談りしる船の内お妻
殺とて叫ぶえ言やまどぬり替る指の瀨川の雪景色白路まゝの
飛やうよさらのやとて水烟記念の帯よるく歸るのまゝ夫婦かか川へ
流れ渡りふ世代あつた及古團扇の骨とまど敵のまがり居るまゝ言て
かゝつて身の富貴白鹿の忠右衛門のむらよ金魚花を咲せ小万乃方の
万歳かゝらむぞ業一金龜山の利益を綴るの丁度巳の年龜くも
とるれ仙鶴屋の看板巳のる金の藏入を預て

柳亭種彦記

天保四年



Handwritten text in cursive script, likely a chapter title or introductory text, located at the top of the page.

Handwritten text in cursive script, likely a chapter title or introductory text, located to the right of the illustration.

Handwritten text in cursive script, likely a chapter title or introductory text, located at the bottom of the page.



Handwritten text in cursive script, likely a chapter title or introductory text, located at the top of the page.

Handwritten text in cursive script, likely a chapter title or introductory text, located to the right of the illustration.

Handwritten text in cursive script, likely a chapter title or introductory text, located at the bottom of the page.



此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 変わらぬ
 世の常なり
 人の心なり
 世の常なり
 人の心なり

此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 変わらぬ
 世の常なり
 人の心なり
 世の常なり
 人の心なり

此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 変わらぬ
 世の常なり
 人の心なり
 世の常なり
 人の心なり

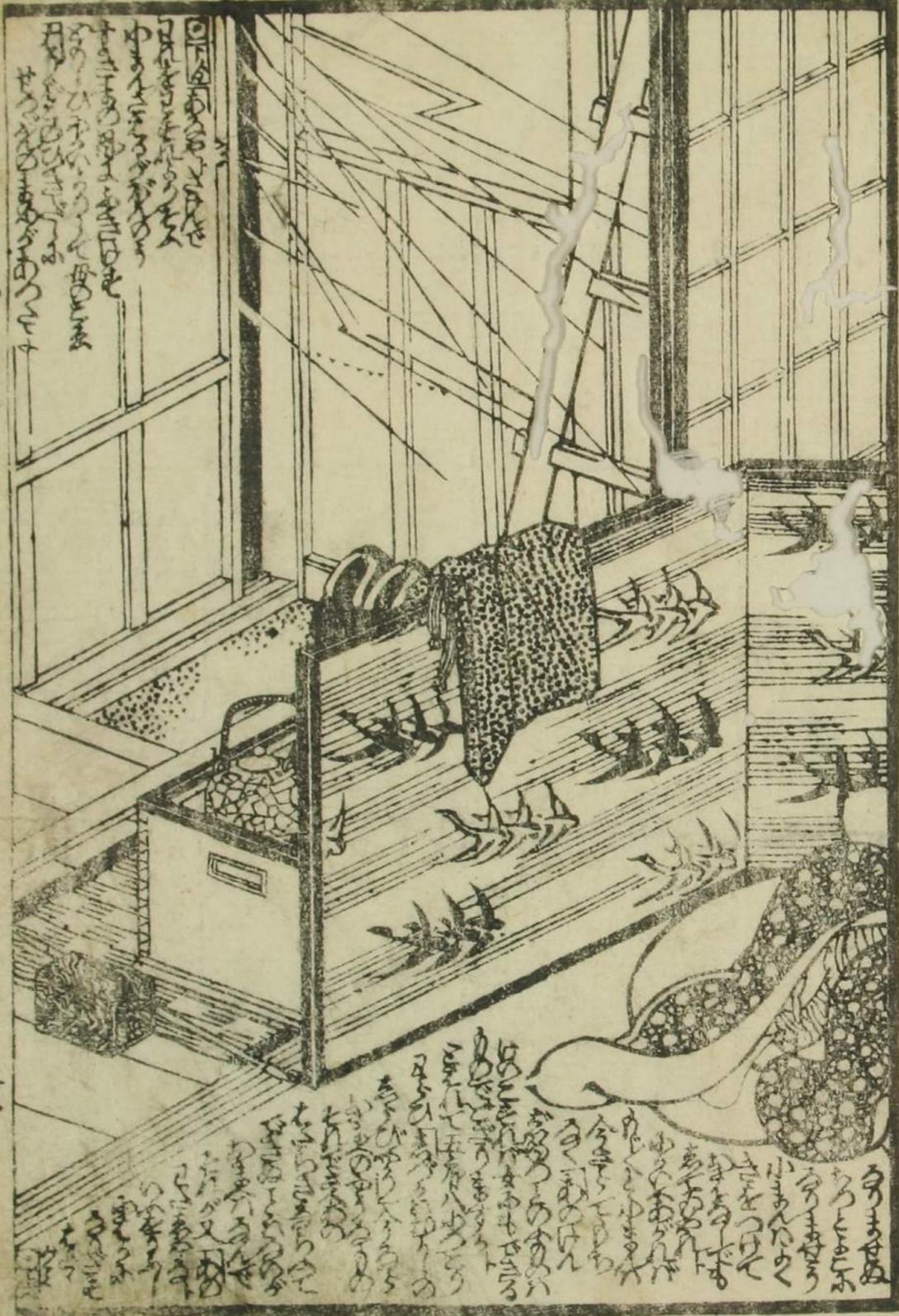


此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 変わらぬ
 世の常なり
 人の心なり
 世の常なり
 人の心なり

此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 変わらぬ
 世の常なり
 人の心なり
 世の常なり
 人の心なり

此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 変わらぬ
 世の常なり
 人の心なり
 世の常なり
 人の心なり

此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 変わらぬ
 世の常なり
 人の心なり
 世の常なり
 人の心なり



Handwritten Japanese text in the upper right corner of the illustration, likely a title or a short description of the scene.

Handwritten Japanese text in the lower right corner, possibly a commentary or a continuation of the text from the adjacent page.



Handwritten Japanese text in the upper right corner of the illustration, providing context or a title for the scene.

Handwritten Japanese text in the lower right corner, likely a commentary or a continuation of the text from the adjacent page.

7 462

7



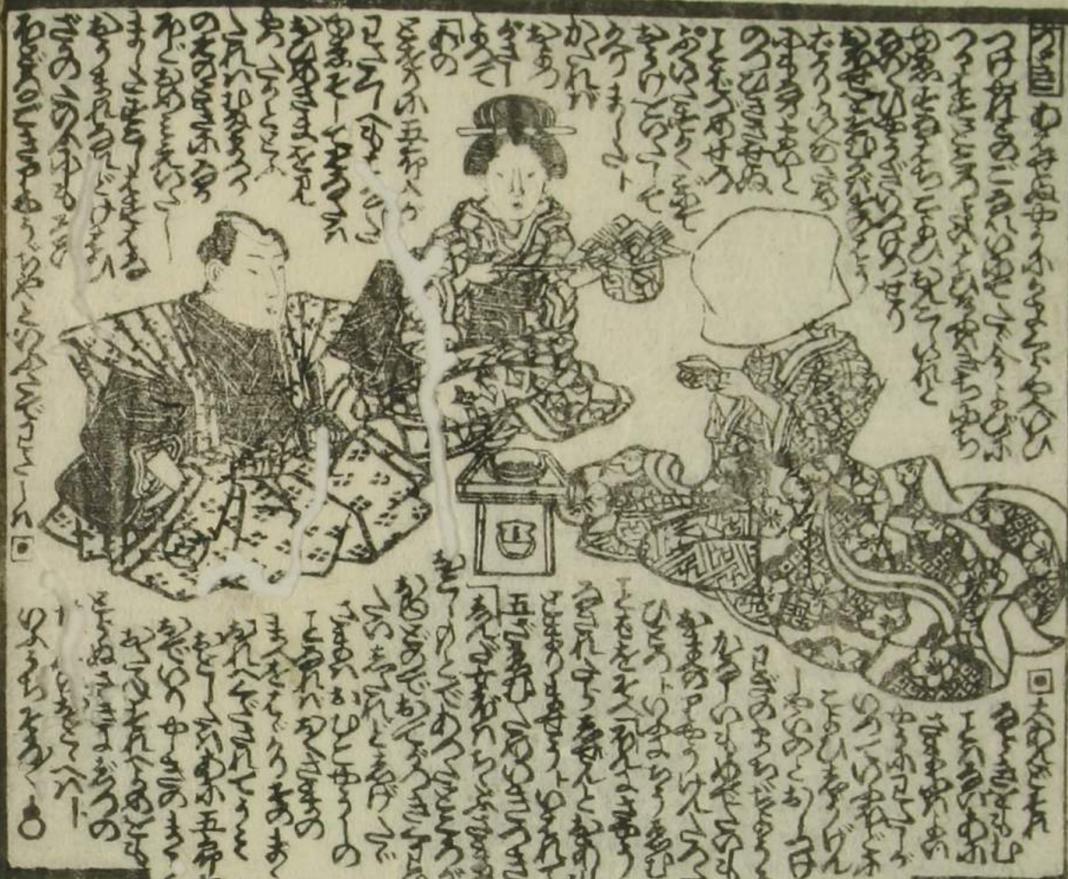
Vertical Japanese text block at the bottom of the left page, containing several columns of characters.



Vertical Japanese text block at the bottom of the right page, positioned above the lower illustration.



Vertical Japanese text block at the bottom of the right page, positioned below the lower illustration.



柳亭種彦作
この小五郎七郎の...
種彦の筆で描かれた...

歌川國直画

右の作名画名を記するの巻尾の圖とあはれけり一葉の圖を三所用するの戯れあり

この小五郎七郎の...
種彦の筆で描かれた...



この小五郎七郎の...
種彦の筆で描かれた...

Handwritten text in the top right corner of the right page, likely serving as a title or introductory notes for the scene below.



Handwritten text at the bottom of the right page, providing further details or commentary on the illustration.

Handwritten text in the top right corner of the left page, likely serving as a title or introductory notes for the scene below.



Handwritten text at the bottom of the left page, providing further details or commentary on the illustration.

進瀬川全一冊 琴通合智述瀬川初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは
一勇為国芳匡文の著すといふは其の著者を知るは

消息往来詳註高井蘭山述 全一冊
消息往来世に傳ふるもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

隅田川兩岸覽北齋筆 袋入 全三冊
隅田川の兩岸を覽るもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

江戸名所物見在清長筆 袋入 全三冊
江戸の名所を物見するもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

花の都路諸大人 狂歌入 全三冊
花の都路を詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

戲場頭微鏡黙々漫隱作 袋入 全二冊
戲場頭の微鏡を詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

奉獨替古中本 山櫻連々 袋入 全二冊
奉獨替の古中本を山櫻連々が詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

教真草消息往来いさハ文字を真草二體小書分且各注 袋入 全一冊
教真草の消息往来をいさハ文字を真草二體小書分且各注するもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

傾城水滸傳第十二編四下 冊
傾城水滸傳の第十二編を四下冊に分けて詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

浮世柳亭種彦 全四冊
浮世を詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

花街雀竹夜遊 全四冊
花街雀を詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

三國志畫傳第五編全八冊
三國志畫傳の第五編を全八冊に分けて詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

八萼藤王傳記全六冊
八萼藤王傳記を全六冊に分けて詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

霞帶柳亭種彦 全六冊
霞帶を詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

修紫田舎源氏柳亭種彦 全六冊
修紫田舎源氏を詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

春遊霞柳亭種彦 全四冊
春遊霞を詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

國字水滸傳第十二編全四冊
國字水滸傳の第十二編を全四冊に分けて詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

星下梅花咲全四冊
星下梅花咲を詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

春遊霞柳亭種彦 全四冊
春遊霞を詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは

團扇地紙問屋鶴屋喜右衛門
團扇地紙を問屋鶴屋喜右衛門が詠むもの初撰を及むるもの清狂なるを
香蝶樓国貞正公の著すといふは其の著者を知るは



